

サステナビリティの推進

サステナビリティ担当メッセージ

2030Vision「金融・資本市場を通じ、豊かな未来を創造する」

気候変動をはじめとする社会課題への対応は、当社グループにとって重要な経営のテーマです。社会課題の解決や循環型経済への移行には資金の流れが不可欠であり、その流れを支える金融・資本市場の役割はますます重要になっています。

当社グループは、トランジションファイナンスをはじめとするサステナブルファイナンスの推進や、人生100年時代を見据えた資産形成支援などに取り組んできました。GX-ETS（排出量取引制度）の本格化や制度基盤の整備に貢献すべく、カーボנקレジットビジネスにも参画しています。また、自社の温室効果ガス排出量ネットゼロを目指すとともに、自然資本・生物多様性への配慮や人権尊重など、サステナビリティへの取組みを幅広く進めています。

日本ではサステナビリティ開示基準の適用が始まりました。開示は単なる情報提供の手段ではなく、ステークホルダーの皆様との対話を深めるための重要なコミュニケーションの機会であると考えています。

サステナビリティを取り巻く環境は変化を続けていますが、当社グループの基本的な考え方、果たすべき役割は変わりません。当社グループは、サステナビリティを経営の中核に据え、豊かな未来の実現と企業価値向上に向けて取り組んでまいります。

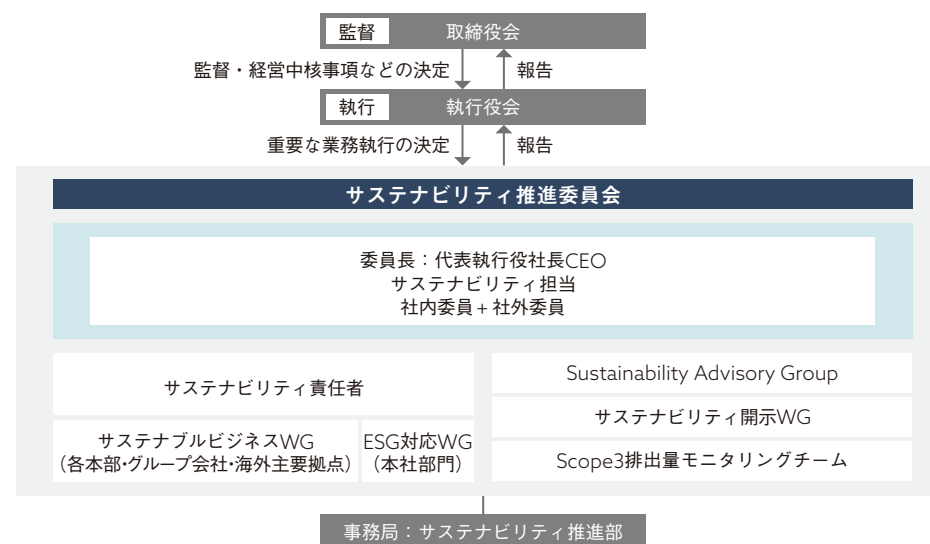


大和証券グループ本社
常務執行役
企画副担当 兼 人事担当 兼 最高健康責任者（CHO）
兼 サステナビリティ担当 兼 金融経済教育担当
川島 博政

サステナビリティ推進体制

代表執行役社長CEOを委員長とするサステナビリティ推進委員会において、サステナビリティに関するグループ方針などを、定期的に議論しています。

また、大和証券の各本部および主要なグループ会社にてサステナビリティ責任者を選任し、関連ビジネスの推進やKPIの進捗管理を行っています。加えて、変化する多様な課題に対応するワーキンググループを設け、グループ会社間の連携や情報共有を強化しています。



サステナビリティ担当

当社グループ全体のサステナビリティ関連ビジネスの推進、およびサステナブル経営の基盤強化への取組みを統括

サステナビリティ責任者

当社グループ内の各組織（各本部・グループ会社）において、サステナビリティ関連ビジネスの推進およびKPIの進捗管理を実施

サステナブルビジネスWG

サステナビリティ責任者のもとで、KPIのモニタリング、サステナビリティ関連ビジネスの進捗状況の把握、課題の洗い出しおよびそれらの課題に対する施策を企画・実施

ESG対応WG

当社グループのESGに関する外部評価（投資家および評価機関）を参考に、ESG対応を拡充・強化

Sustainability Advisory Group

サステナビリティに精通した社内有力者が集まり、当社グループの課題や今後の対応を提言

サステナビリティ開示WG

部署横断の組織として、統合報告の観点からサステナビリティ情報開示の拡充を目指す

Scope3排出量モニタリングチーム

投融资ポートフォリオ等に係る排出量の計測および目標設定を実施